

令和5年度事業報告

令和6年6月27日提出

社会福祉法人 札幌慈啓会
理事長 太田 眞琴

第1. 事業の状況

1. 令和5年度事業総括	3 頁
2. 法人本部	4 頁
3. 総合相談室	5 頁
4. 研究・研修センター	6 頁
5. 慈啓会養護老人ホーム	7 頁
6. 慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム	8 頁
7. 慈啓会ふれあいの郷高齢者生活福祉センター	9 頁
8. 慈啓会特別養護老人ホーム（ユニット型）	10 頁
9. 慈啓会特別養護老人ホーム（従来型）	11 頁
10. 慈啓会短期入所生活介護事業所（ユニット型）	12 頁
11. 慈啓会デイサービスセンター（一般型）	13 頁
12. 慈啓会訪問介護	14 頁
13. 慈啓会介護総合相談センター	15 頁
14. 中央区介護予防センター旭ヶ丘	16 頁
15. 特別養護老人ホーム札幌市稲寿園	17 頁
16. 稲寿園短期入所生活介護事業所	18 頁
17. 稲寿園デイサービスセンター	19 頁
18. 稲寿園訪問介護	20 頁
19. 稲寿園介護総合相談センター	21 頁
20. 札幌市菊寿園軽費老人ホーム（A型）	22 頁
21. 札幌市拓寿園軽費老人ホーム（B型）	23 頁
22. 慈啓会老人保健施設	24 頁
23. 慈啓会病院	25 頁
24. 啓明ともいき保育園	26 頁
25. 中央区第2地域包括支援センター・中央区第2介護予防支援事業所	27 頁
26. 中央区第3地域包括支援センター・中央区第3介護予防支援事業所	28 頁

【裏面】

第1. 事業の状況

1. 令和5年度事業総括

事業区分	拠点区分	サービス区分・主な事業	主な収入	事業目的・事業内容
社会福祉	法人本部	法人本部	寄附金・繰入金	定款・規程類の整備、給与・人事管理の総括、予算決算及び资金管理・経営の総括、中・長期計画の算定。
		総合相談室		相談窓口・施設連携・地域活動・相談員支援を主な事業とし、近隣地域の福祉向上に寄与する。
		研究・研修センター		研究・研修助成事業及び法人職員研修を実施する。
	慈啓会養護老人ホーム	慈啓会養護老人ホーム	措置費	原則として65歳以上で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方が入所する。
		慈啓会養護特定施設入居者介護事業	介護保険収入 利用者負担金収入	
	慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム	ふれあいの郷養護老人ホーム	措置費	原則として65歳以上で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方が入所する。
		ふれあいの郷養護特定施設入居者介護事業	介護保険収入 利用者負担金収入	
		ふれあいの郷高齢者生活福祉センター	委託料	
	慈啓会特別養護老人ホーム	慈啓会特別養護老人ホーム(従来型)	介護保険収入 利用者負担金収入	加齢や疾病等により、入浴、排泄、食事などの動作に障害があり、自宅での生活が困難な入居者に常時介護を提供する(日常生活の世話を重視した生活施設)。又、入居者一人一人意志及び人格を尊重し、個別ケアを主体として福祉サービスを提供する。
		慈啓会特別養護老人ホーム(ユニット型)		
		慈啓会短期入所施設(ユニット型)		
		慈啓会デイサービスセンター(一般型)		
		慈啓会訪問介護		
		慈啓会介護総合相談センター		
	中央区介護予防センター旭ヶ丘	委託料	地域包括支援センターの機能を補完する協力機関として、より身近な地域の相談窓口となり、連携協議して介護予防サービスを行う。	
	札幌市稲寿園	稲寿園特別養護老人ホーム	介護保険収入 利用者負担金収入	加齢や疾病等により、入浴、排泄、食事などの動作に障害があり、自宅での生活が困難な入居者に常時介護を提供する(日常生活の世話を重視した生活施設)。又、入居者一人一人意志及び人格を尊重し、個別ケアを主体として福祉サービスを提供する。
		稲寿園短期入所施設		
		稲寿園デイサービスセンター		
稲寿園訪問介護				
稲寿園介護総合相談センター				
札幌市菊寿園	札幌市菊寿園(軽費老人ホームA型)	委託料	60歳以上の札幌市民で、家庭環境、住宅事情等の理由により、居宅において生活することが困難な方が入居する。(所得制限あり)	
札幌市拓寿園	札幌市拓寿園(軽費老人ホームB型)		A型:食事付 B型:自炊	
慈啓会老人保健施設	入所療養介護	介護保険収入 利用者負担金収入	病状が安定し、看護・医学的管理の下で介護及びリハビリテーション等を提供し、家庭復帰ができるように支援する療養施設。	
	短期入所療養介護			
	通所リハビリテーション			
慈啓会病院	慈啓会病院	診療報酬 利用者負担金収入	傷病者のための科学的でかつ適正な医療を行う。 ＜診療科目＞ 内科、老年内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、精神科、リハビリテーション科、放射線診断科	
啓明ともいき保育園	啓明ともいき保育園	保育所運営費収入 利用料収入	就労等の理由により保育に欠ける生後5ヶ月から小学校入学前の乳幼児の一人ひとりが、心身ともに健康で、たくましく、思いやりのある子どもに育つ保育と保護者や地域との連携を深めて子育ての楽しさを伝える。特別保育事業として、延長保育事業と一時保育事業を行う。	
公益	札幌市中央区第2地域包括支援センター	中央区第2地域包括支援センター	委託料	高齢者が、住み慣れた地域で、自立した生活を継続することができるように、町内会組織などの関係機関と連携し、必要な介護予防の支援を包括的に行う中核機関。
		中央区第2介護予防支援事業所	介護保険収入	要支援状態にある高齢者が、地域で自立した生活を送ることができるように、介護予防のためのサービス計画を作成し、事業者との連絡調整等を行う介護予防ケアマネジメント事業。
	札幌市中央区第3地域包括支援センター	中央区第3地域包括支援センター	委託料	高齢者が、住み慣れた地域で、自立した生活を継続することができるように、町内会組織などの関係機関と連携し、必要な介護予防の支援を包括的に行う中核機関。
		中央区第3介護予防支援事業所	介護保険収入	要支援状態にある高齢者が、地域で自立した生活を送ることができるように、介護予防のためのサービス計画を作成し、事業者との連絡調整等を行う介護予防ケアマネジメント事業。

2. 法人本部

<p>基本方針</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人理念「共生」のもと、社会福祉事業の推進を行った。 2. 法人の経営方針及び中長期経営計画の策定を進めた。 3. 地域における公益的な取組を実施した。 4. 職員の意識・資質の向上に資するため、トータルな人材マネジメントを推進した。 5. コンプライアンス(法令遵守等)を徹底した。 6. 感染症・災害時等の取り組み及び支援を実施した。
<p>重点目標</p>	<p>【経営全般】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法人全体および各拠点の経営について分析・把握・管理を行い、各拠点の経営・経理の状況把握にも努め、健全な財務規律の確立に取り組んだ。 2. 将来にわたって安定した法人経営を実現するために2025年に向けた中期計画、2040年を見据えた長期計画の策定を進めた。 3. 内部コミュニケーションおよび外部コミュニケーションの充実をはかり横断的な組織風土を目指し、事務部門連絡会議の立ち上げも含め組織のガバナンスの強化を進めた。 4. 全ての業務分野において、サービスの質的向上に繋げるべくDX(デジタルトランスフォーメーション/デジタル技術による業務変革)を推進し、業務の効率化・省力化等、業務改善の取り組みを進めた。 5. 新型コロナウイルス感染症の取り扱いの変更等を含め情報収集および各拠点への発信を適宜行った。また、引き続き予防の徹底、長期的視点で法人全体の事業継続が可能となるようBCP計画の策定など対策を講じた。 <p>【地域における公益的な取組】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法人及び各拠点が行う地域福祉事業を支援した。 2. 災害時における福祉施設の広域的な取組を推進した。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自然災害や新型コロナウイルス等感染時の緊急事態に備え、当法人の事業継続計画(感染症編・災害編)について年度当初に各拠点の計画案を確定し、経営会議・理事会に諮り策定を完了した。 (2) 石狩・後志・空知地区の要援護者等の支援センター及び拠点法人として、情報集約や連絡調整業務、緊急時機器の管理・配備を継続した。 <p>【人事・職員処遇】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人材確保は、ホームページやSNSを使った法人の発信力強化と併せ、就職セミナー等の集合形式や紙媒体による求人も実施し、就職支度金制度や紹介制度の導入等によって一定の成果を上げた。また、看護補助・介護職員等の外国人受け入れにも拠点と協力。高校生を対象としたリクルート活動も着手した。 2. 前年度に引き続き、人事制度や給与制度等の改正について随時協議を進めた。 3. 働き方改革に沿ってその時代に合った法人諸制度の改正を継続的に協議した。 4. 法人の次世代人材育成を目的とする次世代プロジェクトを継続。新たなメンバーも加え、法人100周年事業プロジェクトへの参加とともに、マネジメントレクチャーは年度末に通算26回を迎えた。 5. 労働安全衛生管理を推進した。法人統括衛生委員会活動の開催、職員対象の心の相談室「ひだまり」の運営や研修会を開催。職員が働きやすい環境づくりを目指した。また、「健康管理システム」の導入は延期となった。 6. 奨学金手の改正を行い、外部研修(初任者・実務者研修)への費用補助を開始した。 <p>【財務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法人全体における経理規定の周知と遵守の徹底を進めた。 2. 法人ルールの周知を図り、法人の事務担当職員における社会福祉法人会計の基礎実務向上の取り組みの一環として事務部門連絡会議を立ち上げた。 3. 会計業務の効率化と利便向上を目的とした新会計システムを導入し、習熟を進めた。 <p>【コンプライアンス・リスク管理】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法人理念の理解と倫理綱領・法令遵守等の周知徹底を継続した。 2. ハラスメント対応について組織的に実践し、法人研修を実施した。 3. 情報管理におけるガバナンスの整備を継続した。 <p>【広報・情報開示】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ホームページや各種SNS等を活用し、地域における公益的な取り組みの情報公開や求人活動のPR等を通じて、法人の発信力の強化を図った。(Xおよびインスタグラムの運用) 2. 2025年(令和7年)の法人創設100周年に向け、法人ビジョン作成プロジェクト活動を継続。ビジョン案の完成に至った。 <p>【契約事務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 給食業務について、契約の更改を行った。 2. 紙オムツの単価契約について、契約を更改した。 3. その他、各拠点の意向を確認しながら、契約の更新・更改を図った。

3. 総合相談室

1) 相談受付

①総合相談件数

方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計												
	44	43	51	49	67	67	29	28	39	39	42	42	61	61	53	53	70	69	49	49	57	57	6	6	568
来訪	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	1	0	3	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
総数	49	52	67	32	39	43	62	53	70	49	57	6	579												

*その他は郵便、メール、留守電等

②相談内容(複数入力可)

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	3	2	1	3	0	1	1	2	0	1	2	0	16
慈啓会病院	1	2	0	1	1	1	0	1	0	2	1	1	11
老健	4	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	8
養護	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	4
軽費	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	4
予防センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
居宅	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
包括	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ショート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所サービス	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
ヘルパー	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
生活支援ハウス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人外施設紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	38	45	66	26	38	37	59	50	70	46	54	4	533
合計	49	52	69	32	39	43	63	53	70	50	57	6	583

2) 見学案内

実施件数:0件

見学者総数:0名

3) 会議参加

	会議名	出席回数		会議名	出席回数
本部	役員会	7	稲寿園	入所判定会議	1
	月例会	12			
	経営会議	12	特養	入所判定会議	12
	四役会	12			

4) 会議開催

苦情解決第三者委員会(ZOOM)	2
相談員連携会議・勉強会・懇親会	0
旭ヶ丘ミーティング	12
ともいきカフェ	0
コミュニティカフェ	0
地域自主活動支援	0
中央区認知症カフェ定例会	12
統括衛生委員会	12
法人ビジョンPJT	7

5) 連携・調整

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
慈啓会特養	5	30	30	32	31	31	35	7	32	13	9	11	266
慈啓会病院	1	29	29	29	31	31	34	9	29	14	9	17	262
慈啓会老健	6	7	7	10	11	11	14	9	8	13	8	10	114
慈啓会養護	4	5	5	8	12	10	15	9	8	12	10	9	107
稲寿園	4	9	9	10	9	10	12	8	10	11	8	8	108
ふれあいの郷	0	6	6	5	9	10	13	7	7	11	8	8	90
拓寿園・菊寿園	1	6	6	6	7	8	32	12	13	20	12	9	132
予防センター	1	1	1	4	0	1	0	0	0	0	0	0	8
居宅	1	2	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	10
包括支援センター	7	10	10	6	7	1	12	14	14	21	13	8	123
在宅サービス	2	2	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	10
保育園	1	5	5	5	2	5	10	6	8	10	6	5	68
法人外施設	10	16	16	7	6	8	13	8	6	14	10	24	138
合計	43	128	128	129	126	127	190	89	135	139	93	109	1,436

6) その他

・広報誌共生発行 7月(11号)、2月(12号)

4. 研究・研修センター事業報告書

- 1) 助成事業「さっぽろ慈啓会共生(ともいき)助成事業」
会議 運営委員会 2回(6月1日 集合開催、2月15日 ZOOM開催)
審査委員会 2回(6月1日 集合・ZOOM開催、2月中旬 書面開催)
②2023年度助成事業
助成事業公募方法 法人ホームページ、札幌医大研究室、星槎大学 案内
募集応募: 4件
助成決定: 4件 申請総額 2,000,000円
実績報告: 4件 助成総額 1,730,000円
②2024年度助成事業
助成事業公募方法 法人ホームページ、札幌医大研究室、星槎大学 案内
医療新聞、介護新聞
課題募集期間 2024年4月1日～4月30日
- 2) 研修企画
 1. 法人研修(全体) ZOOM開催 13回 17:45～18:45(1時間)
 - ・「令和5年度 新採用者オリエンテーション」
講師 法人本部職員各担当者
開催日・参加者: 令和5年4月3日(月)・43名
 - ・「怒りとストレス」
講師 札幌国際大学 人文学部 心理学科 教授 澤田 信也 氏
開催日・参加者: 令和5年5月25日(木)・240名(録画視聴含む)
 - ・「採用3ヶ月を振り返って インテークの手順、注意するポイント」
講師 法人本部 福祉/経営企画部長 蝦名 真 氏
開催日・参加者: 令和5年6月26日(月)15:15～16:00・1名
 - ・「身体拘束・虐待・行動制限について」
講師 株式会社シムス 専務取締役 山崎 加代子 氏
開催日・参加者: 令和5年6月29日(木)・188名(録画視聴含む)
 - ・「認知症の人の生活について共に考える」
講師 認知症認定看護師 伊志嶺 志津子 氏
開催日・参加者: 令和5年8月29日(火)・255名(録画視聴含む)
 - ・「BCP計画について」
講師 稲寿園/本部事務課長 高橋 範祥 氏
開催日・参加者: 令和5年9月27日(火)17:45～18:15・249名
 - ・「新型コロナウイルスおよびインフルエンザの現状・動向などについて」
講師 北海道医療大学大学院 看護福祉学研究科 臨床看護学講座 石角 鈴華 氏
開催日・参加者: 令和5年10月25日(水)・284名(録画視聴含む)
 - ・「軽車両(自転車・小型バイク)との事故の傾向と注意点」
講師 MS&ADインターリスク総研 株式会社 講師 小原 隼人 氏
開催日・参加者: 令和5年12月20日(水)・243名(録画視聴含む)
 - ・「施設で発生する介護事故の傾向について」
講師 MS&ADインターリスク総研 株式会社 講師 田名邊 雄 氏
開催日・参加者: 令和6年1月23日(火)17:45～19:15・265名(録画視聴含む)
 - ・「高齢者の権利擁護について」
講師 一般社団法人ジャスミン権利養護センター 水戸 由子 氏
開催日・参加者: 令和6年2月20日(火)・62名(録画視聴なし)
 - ・「コンプライアンスおよび個人情報保護について」
講師 弁護士法人リブラ共同法律事務 小泉 純 氏
開催日・参加者: 令和6年3月27日(水)・318名(録画視聴含む)
 2. 法人役職者(課長職以上)研修
 - ・「組織論について」
講師 専務理事/事務局長 今 真一 氏
開催日・参加者: 令和5年7月25日(火)・46名(録画視聴含む)
 3. 国内派遣研修報告会
 - ・「最先端の福祉機器の情報収集とその運用を学ぶ」
講師 特別養護老人ホーム 札幌市稲寿園 磯貝 啓一 氏
開催日・参加者: 令和5年11月22日(水)・218名(録画視聴含む)
- 3) 国内派遣研修・海外研修
 - ① 国内派遣研修 実績あり 1件
・東京 4名 229,432円
 - ② 海外研修 実績なし
- 4) その他 ・生活援助従事者研修、介護職員初任者研修: 応募者数が規定に満たなかったため実施せず

5. 慈啓会養護老人ホーム（定員80名）

（令和5年度事業報告書）

（1）利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者		
		最低		最高		平均		入所	退所	慈啓会	その他	
男	18	最低	67	最高	92	平均	82.4	1	0	3	5	
女	60	最低	71	最高	104	平均	87.7	6	6	7	14	
計	78						平均	86.5	7	6	10	19

・在籍率 98.4%（毎月1日現在在籍数） ・利用率 98.7%（在籍延日数）

（2）防災訓練実施状況

- ・夜間想定避難訓練 R5/12/12(旭ヶ丘4施設合同)、R5/2/16(養護単独、防災協会立会い)
- ・土砂災害想定訓練 R6/3/22

（3）行事・クラブ実施状況

- ・定例 歌クラブ、すこやか体操、誕生会、園内喫茶、防災訓練、炊き出し訓練、折り紙教室、懇談会は各階毎に実施し、月行事の確認や感染予防その他注意喚起、誕生者のお祝いの実施
- ・季節行事 買い物バスレク、養護夏祭り、ゲーム大会、盆踊り大会（アイス提供）、敬老祝賀会、クリスマス会、年越し会、新年会、獅子舞、宝引き（ゲーム大会）、節分豆まき
- ・個別機能訓練や音楽体操などは実施に至らず。

（4）給食実施状況

- ・健康維持のため栄養の不足がなく食事ができるように努め、行事食も例年と遜色ないように努めた。
- ・物価高騰による食材費の不足分を行事食費で補い日常の食事の品質の低下を最小限にした。
- ・非常用保存食は賞味期限切れの入れ替えなど整備を継続して実施した。
また、入れ替えに伴い炊き出し訓練を実施し入居者に実食の場を設けた。

（5）保健衛生実施状況

- ・内科と精神科の定期診察に加え、外部の整形外科及び歯科の往診を継続した。
- ・心身の状況把握のため健康診断での長谷川式簡易知能評価スケールを継続した。
- ・各予防接種を実施も、1月にコロナクラスター発生し、入院、退所に繋がるケースも多かった。

（6）職員研修実施状況

- ・法令に則った事故防止等必要な施設内研修の実施と、法人研修、外部研修へそれぞれ参加した。

（7）固定資産取得状況等（大規模修繕を含む）

- ・R5.12 区分開閉器接地改修工事 ¥1,067,000
- ・R6.3 蓄電池更新 ¥440,000

（8）主要委員会

- ・事故防止・感染対策委員会(各11回)、身体拘束適正化・虐待防止検討委員会（各4回）、行事委員会(12回)、広報誌（2回発行）

（9）事故発生状況

- ・事故報告（転倒5件）5件、ヒヤリハット（転倒、尻もち33件、その他1件）34件

（10）苦情の状況等

- ・なし

（11）数値目標に対しての結果について

- ・毎月一日の在籍80名確保は年度内通して5ヶ月のみの達成となった。
- ・介護報酬は1月のコロナクラスターで入院、退所も増え、目標の3,600万を達成できず。

6. 慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム(定員100名)

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者	
		最低	75	最高	93	平均	84	入所	退所	慈啓会	その他
男	15	最低	75	最高	93	平均	84	4	4	0	12
女	84	最低	69	最高	102	平均	86	15	16	7	36
計	99					平均	86	19	20	7	48

・平均稼働率 100%(毎月1日現在在籍数) 97.75%(1年間の現在数(入院者を除く)÷(定員×365日))

(2) 防災訓練実施 ①10月31日 ②2月21日(夜間火災検証訓練) ③3月22日(水害想定訓練)

(3) 行事・クラブの実施状況

- ・行事: 園内喫茶(5回)、上映会(2回)、夏祭り、敬老会(式典・コンサート)、ふれあい神社、節分甘酒会、ひなまつり会、サツドラ買い物デー、誕生会(毎月)、きらく会ゲーム大会、年忘れ会新年会、土用の丑の日。
- ・クラブ活動: ゲートボール(火曜)、書道(水曜)、カラオケ(第1・3金曜)、転倒予防(第2・4金曜)
- ・園芸(花・野菜作り) 5月～10月までの期間 9名
- ・運動クラブ(月1回)

(4) 給食の実施状況

- ・入居者の食事に関する情報は他セクションと共有し、委託業者との連携により速やかに対応した。
- ・食器洗浄機、老朽化した食器の更新により、厨房作業の効率アップと料理の見た目向上を図った。
- ・コロナ禍での楽しみの一つとなる企画として、月に1回「日本全国ご当地献立」を実施した。

(5) 保健衛生

- ・年2回の定期健康診断実施、日常の体調変化など嘱託医と報告しあい、早期発見・対応することが出来た。
- ・緊急受診および入院時には速やかな対応とともに、日頃から添書等関係書類実施、地域の医療機関と連携を図れるよう務めた。
- ・家族、身元引受人と連絡を密にし、救急搬送、入院、治療等への同意をスムーズに進める事ができた。
- ・集団感染のリスクや感染予防方法について、繰り返し懇談会等で入居者に説明周知を行った。
- ・発熱時、退院時等抗原検出キットを実施し、数日間の個室対応等感染防止対策を行った。
- ・入居者家族、職員、職員家族等の体調不良の情報共有し早期発見に努め、新型コロナウイルス感染者の発生を最小限に抑えた。

(6) 職員研修実施状況

- ・法人研修(11回)・職場内研修(11回)・外部研修(8回)
- 感染症対応力向上研修、養護老人ホーム職員研修会、全国老協北海道ブロック研修大会、他

(7) 固定資産取得状況等

- ・全自動血圧計、ガスフライヤー、電気消毒保管庫

(8) 主要委員会

- | | | | |
|-----------------|----------|------------|--------|
| ・防災 3回(避難訓練の反省) | ・給食 12回 | ・事故防止対策 4回 | ・研修 1回 |
| ・行事 11回 | ・苦情 0回 | ・感染症対策 15回 | ・広報 0回 |
| ・職員会議 12回 | ・身体拘束 4回 | ・虐待防止 4回 | |

(9) 事故発生状況

- ・転倒 12件(内 骨折6件) ・誤嚥 3件 ・自殺 1件

(10) 苦情の状況等

- ・0件

(11) その他

① 町内会との交流状況

町内会との植栽活動 5月上旬 実施
 コロナ禍のため、町内会から花苗の提供を受け職員入所者で植栽を実施。

② 北海道あすかぜ高等学校 職場体験 2名

③ ボランティア活動(計0件 延人数:0名)

④ 社会貢献活動

地域のゴミ拾い活動 屋外活動であるため感染対策を行い5月26日～10月13日の期間で実施
 (計 7回 延参加人数:入居者 40名・職員 32名)

【数値目標に対しての結果について】

- ・待機者数目標を常時「15名」以上確保するとしたが、年間平均17.6名と目標数は確保できたが実質的待機者数は平均11.3名だったため、稲寿園と連携し、地区の民生委員にパンフレットを配布し、手稲区役所担当職員等の施設見学会を実施しPR活動を行った。
- ・特定サービス収入を年間平均額「332万円」以上としていたが、335万5千円となり達成した。

7.ふれあいの郷 生活支援ハウス(定員20名)

(1) 利用状況等											
在籍者数		年齢						年度内入退所		年度内入院件数	
(年度末現在)		(年度末現在)						入所	退所	慈啓会	その他
男	1	最低	75	最高	75	平均	75.0	0	0	0	2
女	18	最低	71	最高	90	平均	79.2	1	0	0	8
計	19					平均	79.0	1	0	0	10

・平均稼働率 92.08%(毎月1日現在在在所数) 91.73%(1年間の現在数(入院者を除く)÷(定員×365日))

(2) 防災訓練3回実施(養護と合同及びシュミレーション)
 第1回. 10月31日 第2回. 2月21日(夜間想定検証訓練)
 第3回. 3月22日(水害避難訓練)

(3) 行事・クラブの実施状況
 ・懇談会・敬老の日(式典・コンサート)ゲートボール(毎週1回)
 ・書道(毎週1回)・転倒予防体操(毎月2回)・食糧品等買い物日(毎週1回)
 ・園内喫茶(5回)・上映会(2回)・節分甘酒会
 ・園芸(花・野菜づくり)活動 4名

季節行事 ・お花見昼食会・夏祭り昼食会・敬老の日昼食会・開園記念昼食会・年越昼食会・新年昼食会
 ・ひな祭り昼食会

(4) 給食の実施状況
 入居者 2名体調不良にて自炊不可の為 提供
 R5年4/27~5/12 R5年12/12~12/15
 管理栄養士による栄養講話 6回

(5) 保健衛生
 年2回健康診断を実施し、病気の早期発見、早期治療を心がけ健康維持に努めた。
 季節型インフルエンザ1回・新型コロナ予防接種を2回行うほか、新型コロナウイルス対応を行なった
 (外出・クラブ活動の制限等については、感染状況等に合わせて緩和している。)
 手指消毒・うがい・マスクの着用等の励行をお話しし感染予防対策を行う。

(6) 職員研修実施状況
 法人職員研修 (11回) 内部研修 (11回) 外部研修 (0回)

(7) 固定資産取得状況等
 なし

(8) 苦情の状況
 懇談会や日常のコミュニケーション等で意見・要望を把握し対応しており、意見箱や
 苦情委員会に寄せられた苦情等は0件。

(9) その他
 社会貢献活動として地域のゴミ拾い活動7回実施(参加者2名)
 居室のレースカーテンの更新。
 浴室配管改修により、水圧が改善された。

8. 慈啓会特別養護老人ホーム（ユニット型:定員80名）

(1) 利用状況

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)					年度内入退所		年度内入院者		介護度 (年度末現在)	
		最低	最高	平均	入所	退所	慈啓会	その他	男	女	平均	
男	14	58	97	77.5	3	5	7	4	3.80			
女	66	68	102	89.9	25	20	33	16	4.12			
計	80			87.6	28	25	40	20	4.06			

・年間平均稼働率 94.0% (1年間の現在数(入院者・外泊者を除く)÷定員×365日)

(2) 防災訓練実施状況 ①12月(4施設合同*特養担当・防火):夜間想定 ②3月:夜間想定→書面

(3) 行事・クラブの実施状況

- ① 定例行事 定期演奏会(札幌) ※コロナの影響で開催されず
イトヨーカドー撤退によりドック配送システムへ切替にて対応しました
- ② 季節行事 御施餓鬼法要は新型コロナ感染対応のため実施しませんでした
- ③ 地域交流・家族交流会等行事
夏祭りは、特養拠点のみ施設内で実施、敬老の日家族交流会は、新型コロナ感染対応のため実施せず
入居者様のみを対象として実施しました
- ④ その他行事 (買物・食事外出) 新型コロナの感染対応継続のため実施しませんでした
(散歩外出) 敷地内の散歩にて随時花見等を小規模で実施
(室内行事) 納涼会・おやつ作り・バーベキュー・茶話会・敬老会・ハロウィン・セタレク・神社レク・
盆踊り・大人の塗り絵・節分

(4) 給食の実施状況

- ① 入所の誕生会食、行事食の提供(クリスマス、年末年始、新年会、節分、ひな祭り)
- ② 褥瘡ケア、排泄ケアとして補助食品を用意し必要な場合に随時提供
- ③ 厨房設備の点検修理(フードプロセッサ、食器洗浄機)
- ④ 多職種連携により、適切なマネジメントのもと、各種加算の算定に努めた

(5) 保健衛生

- ① 新型コロナウイルス感染症対策において、最新の情報収集を心掛け、体制整備と環境整備に向けた取り組みを実施した。また、感染予防具や備品等の追加・整備、消毒機器の増設など必要箇所に対して更なる感染対策を実施してきた。
- ② 家族面会については、感染症対策を徹底した上で、可能な限り対面での面会を実施した。

(6) 職員研修実施状況

内部研修では事故防止・感染症・排泄ケア・認知症ケア・身体拘束虐待防止・褥瘡予防・看取りに関する講習会等
外部研修には全国老協セミナー、浄土宗社会福祉協会研修、介護職員フォローアップ研修等、コロナ5類へ移行により
集合研修を再開

(7) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

GHPエアコン3期工事 / 介護ロボットA.I.Viewlife / ネットワーク環境設備工事 / モバイルIPフォン・骨伝導ヘッドセット /
介護ソフトほのぼのNEXT

(8) 主要委員会の実施状況

(定例開催) 職種会議、事故防止・感染症対策・身体拘束防止委員会、給食委員会、褥瘡予防委員会
研修委員会、入所検討委員会ほか

(9) 事故発生状況(ユニット型・従来型合計)

転倒		転落		すり落ち		外傷		誤嚥		異食	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
31	7	6	2	16	10	14	2	1	0	3	3
離棟離設無断外出		熱傷・凍傷		暴力・暴言		誤薬		その他		合計	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
0	1	0	0	0	0	9	2	26	18	106	45

札幌市報告対象の事故

ユニット型	4
従来型	18

A=アクシデント I=インシデント

(10) 苦情の状況等
0件

(11) その他

- ① ボランティア 新型コロナ感染症対策を実施しつつ、段階的に受け入れを開始した
- ② 世代間交流 啓明ともいき保育園の児童による施設訪問(2回)
- ③ 見学 新型コロナ感染症対策を実施しつつ、受け入れを開始した
- ④ 実習・体験学習 養成校の実習生については、入所、通所どちらの受け入れも可能(感染対策を徹底しながら)とし、計4校10名の実習生を受け入れた。
- ⑤ 木洩れびの家 地域の住民や団体、施設サービス利用者の交流や散歩途中の憩いの場所等を目的とした活動

【木洩れびの家利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者	5	6	12	17	6	3	10	10	5	2	10	7	93
家族	6	6	6	7	8	8	2	2	4	0	1	0	50
職員	2	0	4	1	0	2	1	1	3	4	7	1	26
実習生	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
一般	86	74	69	70	55	52	69	64	74	13	38	22	686
合計	100	86	91	95	69	65	82	77	86	19	56	30	856

(12) 数値目標

(目標) 稼働率97.0% → (実績) 稼働率94.0% = 稼働率-3.0%未達成

9. 慈啓会特別養護老人ホーム（従来型:定員70名）

(1) 利用状況

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所 入所 退所 慈啓会 その他				介護度 (年度末現在)	
		最低	61	最高	90	平均	78.9					男	4.22
男	10							4	5	3	4	女	4.16
女	59	最低	75	最高	105	平均	89.2	16	14	25	13	平均	4.17
計	69					平均	87.8	20	19	28	17		

・年間平均稼働率 95.6%(1年間の現在数(入院者・外泊者を除く)÷定員×365日)

(2) 防災訓練実施状況 ①12月(4施設合同*特養担当・防火):夜間想定 ②3月:夜間想定→書面

(3) 行事・クラブの実施状況

- ① 定例行事 定期演奏会(札幌) ※コロナの影響で開催されず
イトーヨーカドー撤退によりドック配達システムへ切替にて対応しました
- ② 季節行事 御施餓鬼法要は新型コロナ感染対応のため実施しませんでした
- ③ 地域交流・家族交流会等行事 夏祭りは、特養拠点のみ施設内で実施、敬老の日家族交流会は、新型コロナ感染対応のため実施せず
入居者様のみを対象として実施しました
- ④ その他行事 (買物・食事外出) 新型コロナの感染対応継続のため実施しませんでした
(散策外出) 敷地内の散策にて随時花見等を小規模で実施
(室内行事) 納涼会・おやつ作り・パーベキュー・茶話会・敬老会・ハロウィン・七夕レク・神社レク・
盆踊り・大人の塗り絵・節分

(4) 給食の実施状況

- ① 入所の誕生会食、行事食の提供(クリスマス、年末年始、新年会、節分、ひな祭り)
- ② 褥瘡ケア、排泄ケアとして補助食品を用意し必要な場合に随時提供
- ③ 厨房設備の点検修理(フードプロセッサ、食器洗浄機)
- ④ 多職種連携により、適切なマネジメントのもと、各種加算の算定に努めた

(5) 保健衛生

- ① 新型コロナウイルス感染症対策において、最新の情報収集を心掛け、体制整備と環境整備に向けた取り組みを実施した。また、感染予防具や備品等の追加・整備、消毒機器の増設など必要箇所に対して更なる感染対策を実施してきた。
- ② 家族面会については、感染症対策を徹底した上で、可能な限り対面での面会を実施した。

(6) 職員研修実施状況

内部研修では事故防止・感染症・排泄ケア・認知症ケア・身体拘束虐待防止・褥瘡予防・看取りに関する講習会等
外部研修には全国老協セミナー、浄土宗社会福祉協会研修、介護職員フォローアップ研修等、コロナ5類へ移行により集合研修を再開

(7) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

介護ロボットA.I.Viewlife / ネットワーク環境設備工事 / モバイルIPフォン・骨伝導ヘッドセット / 介護ソフトほのほのNEXT

(8) 主要委員会の実施状況

(定例開催) 職種会議、事故防止・感染症対策・身体拘束防止委員会、給食委員会、褥瘡予防委員会
研修委員会、入所検討委員会ほか

(9) 事故発生状況 (ユニット型・従来型合計)

転 倒		転 落		ずり落ち		外 傷		誤 嚥		異 食	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
31	7	6	2	16	10	14	2	1	0	3	3
離棟離設無断外出		熱傷・凍傷		暴力・暴言		誤薬		その他		合 計	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
0	1	0	0	0	0	9	2	26	18	106	45

札幌市報告対象の事故

ユニット型	4
従来型	18

A=アクシデント I=インシデント

(10) 苦情の状況等

0件

(11) その他

- ① ボランティア 新型コロナ感染症対策を実施しつつ、段階的に受け入れを開始した
- ② 世代間交流 啓明ともいき保育園の児童による施設訪問(2回)
- ③ 見学 新型コロナ感染症対策を実施しつつ、受け入れを開始した
- ④ 実習・体験学習 養成校の実習生については、入所、通所どちらの受け入れも可能(感染対策を徹底しながら)とし、計4校10名の実習生を受け入れた。
- ⑤ 木洩れびの家 地域の住民や団体、施設サービス利用者の交流や散歩途中の憩いの場所等を目的とした活動

【木洩れびの家利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者	5	6	12	17	6	3	10	10	5	2	10	7	93
家族	6	6	6	7	8	8	2	2	4	0	1	0	50
職員	2	0	4	1	0	2	1	1	3	4	7	1	26
実習生	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
一 般	86	74	69	70	55	52	69	64	74	13	38	22	686
合 計	100	86	91	95	69	65	82	77	86	19	56	30	856

(12) 数値目標

(目標) 稼働率97.0% → (実績) 稼働率95.6% = 稼働率-1.4%未達成

10. 慈啓会短期入所生活介護事業所(ユニット型:定員10名)

(1) 利用状況等

利用のべ人数	利用のべ日数	平均利用日数	利用者介護度									
			支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	申請中等	計	
男	92	721	7.83	0	4	5	49	34	0	0	0	92
女	283	2,332	8.24	3	4	69	58	70	63	16	0	283
計	375	3,053	8.14	3	8	74	107	104	63	16	0	375

(2) 食事数及び送迎状況

送迎回数			食事数			
迎え	送り	合計	朝食	昼食	夕食	合計
466	467	933	2,446	3,012	2,461	7,919

(3) 防災訓練実施状況

①12月(4施設合同*特養担当*防火):夜間想定 ②3月:夜間想定→書面

(4) 行事・クラブの実施状況

夏祭りは、特養拠点のみ施設内で実施、敬老の日家族交流会は、新型コロナ感染対応のため実施せず
 入居者様のみを対象として実施しました
 (室内行事)納涼会・おやつ作り・バーベキュー・茶話会・敬老会・ハロウィン・セタレク・神社レク・
 盆踊り・大人の塗り絵・節分

(5) 給食の実施状況

- ①入所同様誕生日会食、行事食の提供(クリスマス、年末年始、新年会、節分、ひな祭り)、おやつレクの実施
- ②療養食加算の算定
- ③厨房設備の点検修理(フードプロセッサ―、食器洗浄機)

(6) 保健衛生

- ①新型コロナウイルス感染症対策において、最新の情報収集を心掛け、体制整備と環境整備に向けた取り組みを実施した。また、感染予防具や備品等の追加・整備、消毒機器の増設など必要箇所に対して更なる感染対策を実施してきた。
- ②家族面会については、感染症対策を徹底した上で、可能な限り対面での面会を実施した。

(7) 職員研修実施状況

内部研修では事故防止・感染症・排泄ケア・認知症ケア・身体拘束虐待防止・褥瘡予防・看取りに関する講習会等
 外部研修には全国老協セミナー、浄土宗社会福祉協会研修、介護職員フォローアップ研修等、
 コロナ5類へ移行により集合研修を再開

(8) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

介護ロボットAI.Viewlife一式 / ネットワーク環境設備工事 / モバイルIPフォン・骨伝導ヘッドセット /
 介護ソフトほのぼのNEXT

(9) 各委員会等の実施状況

(定例開催) 職種会議、事故防止・感染症対策・身体拘束防止委員会、給食委員会、褥瘡予防委員会
 研修委員会、入所検討委員会ほか

(10) 事故発生状況

転倒	転落	ずり落ち	外傷	誤嚥	異食	
A	I	A	I	A	I	A
3	6	0	0	0	0	1
無断外出	凍傷	暴力	誤薬	その他	合計	
A	I	A	I	A	I	A
0	0	0	0	0	0	7

A=アクシデント I=インシデント

札幌市報告対象の事故

短期	1
----	---

(11) 苦情の状況

なし

(12) 数値目標

(目標) 稼働率80.0% → (実績) 稼働率 83.3% = +3.3% 達成

11. 慈啓会デイサービスセンター(一般型)

[1] 利用状況 (令和6年3月末日現在)

	要支援		要介護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
実人員	12	14	44	25	8	3	1	107
延利用数	498	999	3776	2547	1156	304	0	9,280

[2] 年度内新規・廃止利用者

	合計
新規利用者	26
廃止利用者	30

	在籍者	最低	最高	平均
男	30	69	93	81
女	77	74	105	89
合計	107			85

[4] 稼働率

	平均/定員	稼働率
一般型	30.0人/35名	85.8%

新規内訳	
慈・居宅	10
2包	2
3包	6
他事	8

廃止内訳	
施設入所	11
入院継続により打ち切り	3
逝去	3
転居	2
他サービス利用	2
その他	9

[5] 苦情数・事故数

苦情数 - 0 件
事故数 - 12 件

[6] 行事の実施状況

誕生会(毎月1週間)・温泉の日(毎月第4週目の1週間)

- ・5月 茶話会
- ・6月 夏祭り
- ・9月 敬老週間
- ・11月 スイーツ週間
- ・12月 クリスマス会
- ・1月 新年会

<毎月>

- ・月替わり体操&ゲーム(毎日)

[7] 行事食の実施状況

・誕生会食・夏祭り・敬老会食・クリスマス会食・新年会(鍋)、節分食、ひな祭り食、開設記念食

[8] 実習生受け入れ状況

・介護福祉士等実習生 1名/介護等体験職場実習 0名

[9] 数値目標

(目標) 稼働率80.0% → (実績) 稼働率85.8% = 稼働率 12カ月達成

[10] 固定資産取得状況等

ハイドロタイザー(湿式ホットパック装置) / 事務所ルームエアコン / 介護ソフトほのぼのNEXT

12. 慈啓会訪問介護

令和5年度

1. ホームヘルパー数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤ヘルパー	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
登録ヘルパー	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
合計	10	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8

2. 利用人員と要介護度別利用者の状況

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	実人員	延利用数	実人員	延利用数	実人員	延利用数	実人員	延利用数	実人員	延利用数	実人員	延利用数	実人員	延利用数	実人員	延利用数	実人員	延利用数	実人員	延利用数	実人員	延利用数	実人員	延利用数	平均実人員	
要支援1	25	89	24	93	26	102	24	87	24	86	21	82	22	78	23	80	22	82	23	77	23	77	22	93	23	1,026
	37	167	37	184	35	177	33	155	31	154	32	152	32	149	33	156	32	144	32	129	32	158	31	138	33	1,863
要介護1	14	56	13	69	14	62	15	71	16	80	17	75	18	78	18	76	17	74	18	76	19	83	19	84	17	884
	7	51	7	57	7	57	7	51	7	46	6	51	6	52	6	48	5	33	5	35	5	36	4	31	6	548
要介護2	1	4	1	4	1	5	1	4	1	5	2	14	1	10	1	7	1	7	2	12	2	16	2	18	1	106
	1	4	1	4	0	0	0	0	0	0	1	2	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	1	8	1	9	2	14	2	12	2	12	2	8	2	12	2	12	2	9	1	8	1	9	1	8	2	121
	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	25
事業対象者	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	3	1	2	1	2	1	2	1	2	1	4	0	0	1	25
	87	381	85	419	86	419	83	382	82	385	82	387	83	385	84	381	80	351	82	339	83	383	81	372	83.2	4,584

3. 派遣内容別件数（延件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均件数
総合事業相当型	269	282	283	244	240	236	228	238	241	214	234	246	246
身体介護	21	18	23	22	19	18	19	12	10	11	14	13	17
生活援助	49	50	54	45	43	40	58	52	46	48	54	57	50
身体生活	38	63	54	67	77	84	73	73	79	76	73	80	70
合計	377	413	414	378	379	378	378	375	376	349	375	396	382

4. 研修・会議等の実施

・月1回の定例スタッフミーティング、研修等実施状況

	内部研修	主な外部研修
4月	今年度の研修について	
5月	排尿ケア	怒りとストレス
6月	入浴ケア	虐待・身体拘束・行動制限防止について
7月	認知症の理解とケア①	認知症の人の生活について共に考える
8月	認知症の理解とケア②	
9月	認知症の理解とケア③	事業継続計画（BCP）について
10月	介護職のストレスマネジメント①	新型コロナウイルスおよびインフルエンザの現状・動向
11月	介護職のストレスマネジメント②	最先端の福祉機器の情報収集とその運用を学ぶ
12月	介護職のストレスマネジメント③	事故に遇わない・起こさないために
1月	ボディメカニクスを使った介護技術①	施設で発生する介護事故の傾向について
2月	ボディメカニクスを使った介護技術②	高齢者の権利擁護について
3月	1年間を振り返る	コンプライアンス及び個人情報保護について

・自己研鑽のための研修参加 : 特養内部研修参加

4. 数値目標

（目標）利用者実績の平均人数 85人 → （実績） 83人 = 未達成

5. 固定資産取得状況等

介護ソフトほのほのNEXT

13. 慈啓会介護総合相談センター

(1)ケアプラン作成者件数

年間平均
130.3人 (令和6年3月末日現在)

(2)契約者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者	2	2	0	0	0	3	6	1	7	4	6	3	34
解約者	0	0	0	0	4	2	0	0	4	0	1	2	13
内 訳	死亡	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	2	5
	入院	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	入所	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0	1	7
	転居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	包括移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小規模多機能 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
契約者合計	229	231	231	231	227	228	234	235	238	242	247	248	

(3)ケアプラン作成者 (利用票・提供票作成者)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	76	74	74	72	71	70	72	74	75	77	78	82	895
要介護 2	33	35	33	36	34	32	33	31	28	31	34	30	390
要介護 3	19	17	17	16	15	13	11	15	13	13	18	15	182
要介護 4	6	4	5	4	5	4	4	4	6	5	6	5	58
要介護 5	4	3	3	4	3	3	3	4	4	3	2	2	38
合 計	138	133	132	132	128	122	123	128	126	129	138	134	1,563
月平均	130.3												

(4)要介護認定申請代行

新規申請	更新申請
0	70

(5)相談経路

電話(夜間・祝日)	来 所	訪 問	合 計
1116 (121)	15	1,868	2,999 (121)

(6)活動状況

①情報伝達会議

会議	47
----	----

②サービス担当者会議

	168
--	-----

(7)予防支援事業

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	2	2	2	2	2	2	1	0	0	0	0	0	13
要支援 2	3	3	3	3	2	2	0	0	0	0	0	0	16

(8)固定資産取得状況等
介護ソフトほのぼのNEXT

14. 介護予防センター旭ヶ丘

(1) 総合相談支援業務

【総合相談】

① 相談件数

電話	訪問	面談	その他	計
58	1	6	0	65

② 相談内容(重複あり)

介護保険制度	介護予防	保険福祉サービス	高齢者虐待	消費者被害	権利擁護	認知症	心身の健康	家族の疾病
6	56	0	0	0	0	2	0	0

医療	住まい	その他
0	2	1

③ 相談結果

継続支援へ	介護予防教室参加	地域介護予防活動参加	介護保険申請	包括紹介	関係機関紹介	終結
6	29	4	0	4	6	16

【地域ケア体制の構築】

地区地域ケア会議(運営主体)	1回
区地域ケア推進会議(運営主体)	1回
地区連絡会議(運営主体)	12回
区連絡会議(運営主体)	11回
専門職との連携	3回
医療機関との連携	0回
地区組織との連携	16回
その他関係機関との連携(中央区介護予防C連絡会含む)	35回
生活コーディネーターとの連携	1回

(2) 介護予防普及啓発業務

① 事業別実施件数

介護予防教室	研修会	相談会	広報物の発行	文書や通信での支援	計	参加者延数
88	0	0	7	0	95	2784

(3) 地域介護予防活動支援業務

① 介護予防に資する地域活動組織の育成及び支援

民児協	福まち	町内会組織	老人クラブ	サロン	自主グループ	その他	計	参加者延数
0	1	0	11	9	108	4	133	1596

(4) 自主活動化支援事業

開催回数	参加者数	内容
2	13	技術指導・交流会

(5) 専門職と連携した介護予防機能強化業務

新規立ち上げ支援箇所数	既存団体支援箇所数
1	8

(6) 数値目標

(目標) 委託契約書に記載の事業実施回数目安の達成

- | | |
|------------------------|---------------------|
| ① 介護予防教室/地域活動組織の育成及び支援 | (目標)48回→(実績)221回=達成 |
| ② 自主活動化支援事業 | (目標)2回→(実績)2回=達成 |
| ③ 地区地域ケア会議 | (目標)1回→(実績)1回=達成 |
| ④ 専門職との連携 | (目標)4回→(実績)15回=達成 |

(6) その他

- ・研修会 市内介護予防センターとの学習会 2回 専門職との研修会 (リハ2回 栄養1回 口腔1回)
- 福祉のまち推進センター全体研修会 1回
- 町内会役員研修 1回

15.札幌市稲寿園 特別養護老人ホーム(定員100名)

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者		介護度 (年度末現在)	
		最低	72	最高	98	平均	84.7	入所	退所	慈啓会	その他	男	3.85
男	13	最低	72	最高	98	平均	84.7	10	9	12	5	男	3.85
女	87	最低	72	最高	100	平均	89.0	22	23	26	30	女	3.99
計	100					平均	88.4	32	32	38	35	平均	3.97

・平均稼働率 95.1% (R4年度 95.7%)

【説 令和5年度の平均稼働率は、95.1%の稼働(前年より-0.6%)と目標に対して1.9%下回った。特に11月後半～12月に掛けてクラスター発生により、12月は90.6%の稼働率と大きく影響を及ぼした。5, 6, 1月は目標値の稼働率97%を上回ることができたが、下半期の平均稼働率は94.2%と振るわず、年度末には入院者も平均6.4人/日となり、目標値に達することが難しかった。。

(2) 防災訓練実施状況

- 3月15日(防災訓練・夜間想定)、3月29日(自衛消防訓練)

(3) 行事・クラブの実施状況

○全体行事

8/8・8/9夏祭り、9/15敬老行事、9/18手稲神社例大祭、12/21クリスマス、12/28もちつき、1/5獅子舞・おみくじのみ。2/1節分、3/1ひな祭りを開催

○地域交流・家族交流会等行事

コロナ感染拡大により実施できず。

○ユニット行事

・お茶会(ハロウィン)ホール全体に季節感とハロウインの飾り付けを行い、入居者様に季節を感じて頂きながらスイーツを楽しんで頂いた。

・誕生日にケーキ(嚙下状態によりプリン等食べやすいもの)を提供し職員でお祝いして写真を撮った。

(4) 給食の実施状況

コロナ感染対応を含む日々の食事提供は、他セクションとの連携のもと、臨機応変な対応で事故なく行うことができた。

(5) 保健衛生

・入所者様の体調不良・変化を早期に捉え、出来る限り入院の経過に至らないよう、往診医・協力医療機関と連携をはかっていく。

・日常的な感染予防の継続。また感染症流行時期・発熱・嘔吐時など必要状況に合わせて、居室・ユニット内で感染対策強化を行う。特にクラスター時は、臨時の感染委員会の開催と、他部署間での情報共有を行い、感染を広げないよう最小限にとどめられるよう努めていく。

・ワクチン定期接種・健康診断の施行

(6) 機能訓練

入所者様の基礎疾患や不可逆的な変化からADL変化のケースはあったが、介護職員の努力により入所者様のADLを維持されているケースも多い。今後も、入所者様の残存能力を活かしADLを維持できるよう、機能訓練や環境整備、介助方法などのアドバイスを実施する。また、感染症に対する規制が徐々に緩和されつつあるなか、入所者様が楽しみの時間をもって過ごすことができるように努めていく。

(7) 職員研修実施状況

令和5年 R5/5月25日メンタルヘルス研修、6月29日虐待研修、7月25日人事研修、8月29日認知研修、9月27日BCP研修、10月25日感染研修、11月22日国内派遣研修、12月20日安全運転研修、R6/1月23日事故防止研修、2月20日権利擁護研修、3月27日コンプライアンス研修

(8) 委員会等の開催

・各部署会議:毎日のミーティング、情報共有会議

・各委員会:行事・給食委員会、衛生・感染対策防止委員会、身体拘束廃止・虐待防止・事故防止委員会、自立支援・重度化予防対策(接遇・活動、入浴、排せつ、食事・口腔ケア)委員会、入所検討委員会

・カンファレンス:定期開催、臨時開催(都度)

○定期開催委員会(毎月・隔月)

情報共有会議(1回/月)、各委員会(1回/月)、カンファレンス(プラン更新時、不定期開催は随時)

※コロナ感染発生者がいた場合には書面開催にて実施

(9) 固定資産取得状況等

・固定資産取得・・・介護ロボット3台

・修繕・・・廊下照明機器、換気ファン交換、ベッドキャスター交換、更衣室洗面台交換、排水桝補修

(10) 事故発生状況

転倒、転落:58件、皮膚変色、出血:42件、誤薬:7件、異食:1件、誤嚥:0件、他:2件 合計:110件

(11) 苦情の状況等

今年度はなし。

(12) その他

①ボランティア 特養・車椅子清掃、洗濯たたみ、裁縫 デイサービス・麻雀、トランプ相手、お茶出し、ドライヤー掛け、湯のみ洗い、見守り、裁縫、音楽ボランティアウクレレ歌、定期演奏

②交流 さわらび幼稚園勤労感謝の日、訪問交流

③実習・体験学 特養・デイサービス せいとく介護こども福祉専門学校1名

(13) 数値目標

(目標)稼働率 (目標)稼働率 97.0%、→ (実績)稼働率 95.1%

= 稼働率 -1.9% 未達成

16. 稲寿園短期入所生活介護事業所(定員10名)

(1)利用状況等															
	利用 総人数	利用 総日数	平均 利用日数	利用者介護度								送迎 回数	食事数		
				支1	支2	1	2	3	4	5	計		朝食	昼食	夕食
男	58	508	8.76	0	0	19	2	14	14	9	58	490	2,459	2,735	2,487
女	167	2,241	13.42	0	0	19	36	50	34	28	167				
計	225	2,749	12.22	0	0	38	38	64	48	37	225				

・月平均稼働率 75.1% (R4年度 71.4%)

【説明】 令和5年度は、11～12月のクラスターにより、稼働率が大きく低下し、特に10～12月は稼働率が70%満たない状況であったが、年度末には稼働回復に成功し、年間の平均稼働率は75.1%と目標値(75%)を0.1%ではあるが上回ることができた。
ロングショートを受け入れ(5件の受け入れを実施)や、利用予定日を3ヶ月程度先まで計画的に入れ、事前にCMへ打診する方法を続けたことで、極力隙間のない居室運用を行うことで稼働率は前年よりも向上したと考えられる。

(2)防災訓練実施状況
 (3)行事・クラブの実施状況
 (4)給食の実施状況
 (5)保健衛生
 (6)職員研修実施状況

} 特養と同内容のため省略

(7)固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)
なし

(8)事故発生状況
転倒・転落 12件、アザ・出血7件、誤薬3件、異食1件、誤嚥・誤飲0件 計23件
札幌市報告件数:1件

(9)苦情の状況等
0件

(10)その他 特養と同内容のため省略

(11)数値目標
(目標)稼働率 75% → (実績) 75.1%
= 0.10% 達成

17. 稲寿園デイサービスセンター(定員32名)

(1) 利用状況等

	登録数	実利用数	介護	予防	新規	廃止
年間延べ		1,115	930	274	60	44
月平均	100	92.9	77.5	22.8	5.0	3.7

・月平均稼働率 81.1% (R4年度 60.2%)

【説明】 今年度の平均稼働率は81.1%。月平均での体験や新規獲得数、ともに目標を達成することができた。毎月の営業と満足度の高い行事を継続し、利用者・家族・CMからの信頼を獲得することができた。しかし、月によってはまだまだ新規・体験数が目標未達となっており、営業方法も今年度から手稲区内20か所訪問型で統一し、反応をみながら対応していく予定。今後も行事の継続と質の高いサービスを提供し、より一層丁寧な営業と細やかな調整が必要。

- (2) サービス質と稼働率の向上 …… アンケート結果より、総合満足度84%が満足・大変満足との返答。行事は、入浴、手工芸、食事を柱として取り組んだ。イベント湯、手工芸、食事ともに利用者様からの好意的な意見が多かった。稼働は、毎月の行事の継続と満足度を高めるサービスを意識し、営業等の職員努力により、年間で目標稼働をひと月も下回ることなく、業務を行った。
- (3) 防災訓練実施状況 …… 特養と同内容のため省略
- (4) 職員研修実施状況 …… 特養と同内容のため省略
- (5) 主要行事 …… 誕生会(毎月)、夏祭り、敬老週間祝賀会、クリスマス会、新年会、創作活動、ゲーム大会、温泉イベント、食事会、その他スタッフ企画レクリエーション
- (6) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)
なし
- (7) 苦情の状況等
1件(令和5年9月29日受付:利用者家族から、職員の対応に対しての苦情を受けつける。)
- (8) 数値目標
(目標) 稼働率 73.4%(24人) → (実績) 81.1%

18. 稲寿園訪問介護

(1) 月別派遣状況等(前年度比較)

【説明】

派遣回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	428	480	501	500	535	479	524	558	515	481	494	507	6,002
令和4年度	203	263	297	304	326	364	342	332	388	336	356	459	3,970
増減	225	217	204	196	209	115	182	226	127	145	138	48	2032

派遣時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	392.0	439.0	450.0	462.0	482.0	438.0	480.0	491.0	463.0	426.6	442.5	453.9	5,420.0
令和4年度	186.0	248.0	277.0	283.0	286.0	321.0	281.0	280.0	327.0	299.0	320.0	417.0	3,525.0
増減	206.0	191.0	173.0	179.0	196.0	117.0	199.0	211.0	136.0	127.6	122.5	36.9	1895.0

(2) 介護度別利用者状況

令和5年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者		1	1	1	1									4
要支援	1	14	12	13	12	15	16	16	16	13	12	9	8	156
	2	24	24	29	29	29	28	30	28	30	32	31	32	346
要支援計		39	37	43	42	44	44	46	44	44	44	40	40	506
要介護	1	23	24	22	25	23	22	24	29	26	26	29	30	303
	2	6	6	5	5	7	7	9	9	8	8	8	5	83
	3	4	4	4	3	3	4	4	4	4	5	4	4	47
	4	2	4	4	4	4	2	4	3	3	2	3	3	38
	5	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
要介護計		35	38	35	37	38	36	41	45	41	41	44	42	473
合計		74	75	78	79	82	80	87	89	85	85	84	82	980

(3) 職員研修・カンファレンス状況

- ① 定期研修 : 毎月1回実施
- ② カンファレンス : 毎月1回実施
- ③ 個別研修 : 年間を通して1回以上

(4) 上半期 数値目標

月の目標派遣回数 350回以上、月の登録件数50件 →(実績)派遣回数 479回、登録件数 80件
 = 派遣回数 +129回 達成、登録件数 +32達成

(5) 下半期 数値目標

月の目標派遣回数 450回以上、月の登録件数70件 →(実績)派遣回数 507回、登録件数 82件
 = 派遣回数 +57回 達成、登録件数 +12達成

○毎日稼働の方、2件支援に介入したため500件近い数字を維持できた要因となっている。
 ○ヘルパー6名が平均1日4件稼働以上で500件は可能だが、週3稼働や週4稼働のヘルパーもいるため
 サ責で稼働対応している。

19. 稲寿園介護総合相談センター

(1) 相談対応方法

【説明】1月末に職員1名が退職。またR5年7月とR6年1月に人事異動あり。

(単位:人)

令和 05 年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内訳	訪問	172	181	191	161	212	212	188	188	180	181	181	176	2,223
	来所	0	2	1	2	2	5	2	1	0	2	1	1	19
	電話	137	132	126	118	137	154	135	74	105	107	100	114	1,439
合計		309	315	318	281	351	371	325	263	285	290	282	291	3,681

(2) 契約者推移

【説明】新規より解約が上回り、例年より死亡・長期入院・入所の廃止理由が多い。11月12月には戦略的に事業所変更を実施した。

(単位:人)

令和 05 年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規契約者		3	4	7	6	3	1	3	4	1	3	3	6	44
解約者		4	6	2	2	3	9	6	7	5	3	0	6	53
内訳	死亡	1	2	0	0	1	4	2	0	1	0	0	1	12
	長期入院	0	1	0	1	1	2	0	1	0	1	0	1	8
	入所	1	2	1	0	0	3	3	2	0	2	0	3	17
	転居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業所変更	1	0	0	0	0	0	0	4	3	0	0	0	8
	包括移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小規模多機能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	1	8	
契約者合計		211	209	214	218	218	210	207	204	200	200	203	203	

(3) 相談経緯・件数

【説明】退職者の発生に伴い新規担当依頼に対応できなくなり、秋口以降、包括からの相談が減少した。

(単位:人)

令和 05 年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手稲区第1包括		4	0	1	0	2	3	2	0	1	0	0	0	13
手稲区第2包括		0	4	3	6	3	3	0	1	1	0	1	2	24
中央区第2包括		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中央区第3包括		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本人・家族		1	1	2	3	1	3	3	1	2	3	2	5	27
病院		0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	5
他事業所		1	0	0	2	2	1	4	3	1	2	0	0	16
合計		6	6	7	11	8	10	9	6	5	5	5	7	85

(4) 月別利用者数

【説明】7月8月9月と件数のピークとなっている。また退職者の担当ケースを職員3名で一時期分担引継ぎしていたため、総件数自体をコントロールした経緯あり。

(単位:人)

		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	R05年度	8	7	7	8	7	6	6	8	7	8	7	7	86	
	R04年度	6	8	8	6	6	5	5	5	5	6	6	8	74	
要支援2	R05年度	13	16	16	14	14	15	14	14	13	12	15	14	170	
	R04年度	14	13	14	10	11	11	11	12	10	11	12	14	143	
要介護1	R05年度	76	73	73	78	79	75	72	70	70	72	71	72	881	
	R04年度	67	68	71	65	66	64	63	63	60	65	70	67	789	
要介護2	R05年度	39	39	41	41	43	42	44	45	43	41	40	40	498	
	R04年度	32	32	31	30	29	35	35	32	34	35	38	40	403	
要介護3	R05年度	19	21	22	22	23	23	23	21	18	15	14	14	235	
	R04年度	20	22	23	21	23	22	21	22	18	18	18	17	245	
要介護4	R05年度	7	6	4	4	3	3	1	1	1	2	3	4	39	
	R04年度	4	6	8	7	7	9	7	9	9	7	7	7	87	
要介護5	R05年度	3	3	3	3	5	6	6	5	5	5	5	5	54	
	R04年度	4	5	6	5	4	3	3	3	3	3	3	3	45	
合計	R05年度	165	165	166	170	174	170	166	164	157	155	155	156	1,963	
	R04年度	147	154	161	144	146	149	145	146	139	145	154	156	1,786	

(5) 研修会等出席状況

他法人主催・区内包括主催の事例検討会に参加した他、医療介護連携を目的としたZOOMや初任介護支援専門員OJT事業などの研修機会に参加を行っている。うち、1名は今年度新たに市ケアマネ連協に加入した。

(6) その他

令和05年度特定事業所集中減算は前期後期ともに指摘事項、減算なし

20. 軽費老人ホームA型札幌市菊寿園（定員50名）

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者			
		最低	75	最高	96	平均	82.8	入所	退所	慈啓会	その他		
男	10	最低	75	最高	96	平均	82.8	5	2	2	9		
女	24	最低	71	最高	100	平均	83.8	5	3	0	6		
計	34							平均	83.5	10	5	2	15

・平均在籍者数 32.9名 65.9% 平均介護度 0.98（参考：令和4年度 1.03）

(2) 防災訓練実施状況

- ① 9月26日(昼間想定三者合同訓練) ② 3月29日(夜間想定三者合同訓練)
- ③ 3月29日(動画視聴による研修)

(3) 行事・クラブの実施状況

- ① 定 例：ラジオ体操(午前・午後各1回)、介護予防体操(週1回)、脳トレクラブ(週1回)、すこやか倶楽部(月1)
- ② 季節行事：6月すき焼きの日(個別)、7月外出レク、8月夏祭り、9月敬老会、開園記念食(個別)、12月クリスマスランチ
12月クリスマス会、忘年会、1月新年会、2月鍋の日(個別)

(4) 給食の実施状況

給食時間 朝 7:30～ 昼 12:00～ 夜 17:30～

- ① ごちそうの日、セレクト食等の実施
- ② ADL低下者に配慮した思いやり対応(時間前の誘導、配下膳の一部介助等)
- ③ 嗜好調査の実施

(5) 保健衛生

- ① 嘱託医による定期診察、定期処方及び臨時処方による治療。
- ② 施設内感染防止対策として、手洗い・うがい励行の啓発、環境の保清化、次亜塩素酸による各居室ドアノブ・手すり等の消毒、手指消毒液を玄関・食堂前に設置、適切な手洗いについて職員・利用者に説明会を実施。
- ③ インフルエンザ予防接種を積極的に行い、うがい・手洗い等で冬期間の風邪予防。
- ④ 月1回の血圧測定、2ヶ月に1回体重測定、年2回健康診断を行い健康保持。
- ⑤ 薬の自己管理が難しい場合、カレンダー薬や配薬で対応。
- ⑥ 認知症、ADL低下者への一時的な対応（洗濯・掃除・入浴の一部介助）。

(6) 職員研修実施状況

北海道ブロック初任者研修(全軽協)、北海道ブロック研究大会(道老施協)、生活相談員研究会総会・研修会(市老施協)
北海道高齢者虐待防止推進研修会(道社協)、養護・軽費老人ホーム職員交流研修会(市老施協)
社会福祉施設ブロック研修会(道社協)、ボランティアの現状とボランティア活動センターについて(市社協)
社会福祉法人会計実務者決算・財務分析講座(道社協)、生活相談員研究会(市老施協)、軽費・ケアハウス研修会(道老施協)
身体拘束・虐待・行動制限研修(法人研修)、認知症研修(法人研修)、感染症研修(法人研修)、BCP事業継続計画研修(法人研修)

(7) 固定資産取得状況等

無線アクセス設備、施設内LED照明機器一式、デスクトップパソコン

(8) 修繕・大規模改修等

居室クロス・畳張替・窓ガラス交換、屋外給水配管修繕、食堂・厨房コンセント修繕、1階男子トイレ床下排水
エレベーターピット内漏水処分、火災通報装置電源配線引直し、食堂・厨房窓ガラス交換、厨房混合水栓取替
厨房消毒保管庫基盤取替、食堂前LED照明修繕、エレベーター部品交換、3階女子トイレ排水不良修繕
2階給湯室排水管詰り修繕

(9) その他

- ① アンケートによる満足度調査の実施

21. 拓寿園軽費老人ホーム（定員50名）

(1) 利用状況等

在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)				年度内入退所		年度内入院者	
	最低	最高	平均	入所	退所	慈啓会	その他	
男 4	72	83	78.3	1	2	0	2	
女 25	70	92	81.3	5	7	1	5	
計 29			平均 80.9	6	9	1	6	

・平均稼働率 64.0% (毎月1日現在在籍数)

(2) 防火訓練実施状況

- 2回実施予定のうち、9月は感染予防のため中止。
2月は北海道消防機材協力のもと全員参加にて避難訓練を実施した。

(3) 行事・クラブの実施状況

- ・定例行事・クラブ活動・季節行事については感染予防のため中止した。

・その他

介護予防教室（月2回）、ふまねっと運動（月2回）、
買い物ツアー（月2回、最寄りのスーパーまで）
（そのほか、屯田地区ふれあい福祉週間輪投げ大会、日赤奉仕団園内清掃、きらく会ゲーム親睦大会
有朋高校生との交流会・夏祭りボランティア受入れ、屯田北児童会館の児童との交流会、
ふれあいの郷養護老人ホームとのゲートボール・カラオケ交流会、リンパマッサージ教室、
映画鑑賞会、健康歩こう会は感染予防のため中止）

(4) 給食の実施状況

- ・なし

(5) 保健衛生

- ・10月と3月の年2回、協力医（ふるや内科）で健康診断を実施した。
- ・新型コロナワクチンの接種は、1. 札幌市の巡回接種（5月）2. 慈啓会病院（12月）にて行った。
- ・要介護要支援認定者等に対して、担当ケアマネジャー及び各福祉医療機関との連携に努めた。
- ・インフルエンザ予防接種は、10月から11月にかけて、協力医又はかかりつけ医にて実施した。
- ・新型コロナウイルスや食中毒等の感染症予防のため、掲示物や書面配布等で啓発し注意喚起した。

(6) 職員研修実施状況

- ・法人職員研修会等に参加

(7) 固定資産取得・処分状況

- ・10月 移動式融雪機 購入

(8) 大規模修繕・改修

- ・該当なし

(9) その他

- ・入居者アンケートによる満足度調査の実施：1月
- ・床ワックス清掃の実施（年2回）
- ・排水管清掃の実施（年2回）
- ・害虫点検（年2回）
- ・消防設備点検（年2回）
- ・感染予防対策として、外出から帰園後に玄関にてマスク交換を行っている。
- ・窓ガラス清掃実施：9月
- ・新型コロナワクチン7回目接種は札幌市の巡回接種が終了しているため、貸し切りバスを利用し、慈啓会病院にて接種：12月

22. 慈啓会老人保健施設(入所定員 90名、通所定員 40名)

(1) 利用状況等

【施設サービス】

在籍者数 (年度末現在)	年齢(年度末現在)			年度内入退所者		年度内入院者		平均介護度 (年度末現在)	
	最低	最高	平均	入所	退所	慈啓会	その他	男	女
男	20	47	92	78.9	33	24	6	7	3.1
女	62	72	104	88.5	61	67	8	15	2.94
計	81				94	91	14	22	2.98

【短期入所療養介護】

在籍者数 (年度末現在)	年齢(年度内)		利用日数	
	最低	最高	利用人数	35
男	0	58	91	734
女	2	79	103	20.97
計	1			

【通所リハビリテーション】

年齢(年度末現在)	介護度別利用回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	最低	最高	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計	計	計	計	計	計	
男	61	97	15	69	114	69	69	28	342	2428	15	69	114	69	28	342
女	66	103	23	58	115	95	84	29	397	2580	23	58	115	95	29	397
計	739	5,008	386	430	410	347	390	412	469	454	431	391	448	439	5,007	

(2) 防災訓練実施状況

①令和5年12月12日(旭ヶ丘地区合同防災訓練:特養)

②令和6年3月27日(夜間想定避難訓練)

(3) 年間行事・交流会・趣味活動の実施状況

【行事・交流会】誕生会、花壇作り、敬老会、夏祭り、スイカ割、秋祭り、クリスマス会、新年会、豆まき、雛祭り他

【趣味活動】折り紙、はり絵、クイズ、手遊び、体操、ボール遊び、計算、塗り絵、風船バレー、脳トレ、習字他

(4) 委員会及び会議

①生活向上6回 ②食事9回 ③感染予防7回 ④研修7回 ⑤安全推進8回 ⑥身体拘束ゼロ7回 ⑦褥瘡予防7回

⑧ケアプラン検討0回 ⑨苦情処理3回 ⑩衛生会議10回 ⑪虐待予防7回 ⑫経口維持9回 ⑬運営会議10回

⑭管理者会議7回 ⑮フロア会議4回 ⑯リーダー会議1回 ⑰脳活プロジェクト1回 ※臨時感染症対策委員会56回

(5) 給食の実施状況

給食時間 朝 8:00 昼 12:00 夕 18:00

・保温食器の導入等による適温適時給食の実施

・特別食(治療食)の対応

・行事食では季節感、食材のバリエーション等、食事による利用者の精神的活性化

・個々の身体状況を考慮した食形態や栄養補助食品の工夫等

・ミールラウンドの実施

(6) 保健衛生

・毎食後の口腔ケアを継続。

・新規入所時や発熱時・感染症疑いのある時は個室隔離等の感染対応を行ない、感染と拡大の防止に努めた。

・手洗いの励行(手洗い困難な利用者はアルコールウェットタオル使用)、手すり・テーブルの消毒(3回/日)、換気の実施。

・コロナワクチン接種、インフルエンザ予防接種の実施。

・気温・湿度の管理をしっかりと行い、感冒等の流行の兆しが認められた時は早期対応を行い、罹患者を最小限に抑えた。

・入所時、抗原検査を実施 他病院からの入所時は病院でのPCR・抗原検査で陰性確認を行った。

・勤務開始前には職員の検温を実施(現在は解除)。発熱時は抗原検査実施。有症時は休務で対応。

(7) 職員研修実施状況

【施設外研修】

社会福祉法人社会福祉施設ブロック研修会(1名)、介護実習講習会(1名)、認知症介護実践者研修(2名)

看護職員認知症対応力向上研修会(1名)、介護福祉士実習指導者講習会(1名)道抑制廃止研修会(1名)他

【施設内研修】

感染症研修(2回)、虐待研修(1回)、権利擁護(1回)、安全・リスク管理研修(2回)、コンプライアンス研修(1回)

役職者研修(1回)、メンタルヘルス研修(1回)、認知症研修(1回)、BCP研修(1回)、接遇研修(1回)

施設内クラスター振り返り(1回)、国内派遣研修報告会1回

(8) 事故発生状況及びヒヤリハット

事故報告 : 211件 (転倒 47件、外傷 18件、誤薬 13件 異食 10件 離棟 1件 他122件 内骨折事故 1件)

ゼロ報告 : 101件

(9) 苦情の状況等

計 2 件

23. 慈啓会病院

I. 基本方針

法人理念及び当院の理念に沿った、地域の方々から信頼される病院をめざし、医療サービスの更なる向上と経営安定を図ることを目的に運営した。

II. 重点目標

急性期以後において、エリアNo.1の医療サービスを提供するためにPDCAを推進し、目標達成を目指して事業展開した。しかし看護スタッフ不足から一部病棟の稼働制限を行わざるを得なかったことと、コロナの5類移行に伴う報酬低下から入院収入が大きく予算を下回ったため、病棟再編を含んだ経営改善を株式会社日本経営とコンサルタント契約を結び、病院プロジェクト委員会を立ち上げ活動した。その結果、稼働上昇にシフトしたが、予算達成には至らなかった。

1. 病院経営について

- (1) 外来収入は、内科・精神外来ともに予算達成とはならなかった。患者数の減少が継続している。予防接種については新型コロナワクチン接種を積極的に実施し、対予算3,069千円のプラスとなったが、当該年度にてワクチン接種事業は終了した。施設外来は予算達成している。
入院収入は、看護スタッフ減少により一部病棟で患者数を制限したため稼働が大きく減少した。診療報酬上のコロナ加算も2023年5月で終了したこともあり、対予算▲90,480千円と大きくマイナスとなった。
一部病棟のコロナクラスターに伴う補助金39,309千円があったが、収入の減少を補うには至らなかった。
- (2) 支出は、人件費については看護スタッフの補充をある程度実施できたが、充足には至っていない。事業費については、患者数減少により薬品費や診療材料費、給食材料費等が減少した。事務費については、医師や看護師の紹介手数料が対予算+37,093千円と大きく増加した。
- (3) 収支については、入院の大幅マイナスから経常増減差額で対予算▲67,576千円の▲11,827千円となった。

2. 収支状況について

(1) 外来診療費収入(科別)

種別	2023年度予算		2023年度実績		予実差	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
内科外来	4,800	33,600	4,387	32,367	▲ 413	▲ 1,233
精神科外来	480	2,400	309	1,459	▲ 171	▲ 942
健診・ドック	3,232	22,020	3,491	21,570	259	▲ 450
予防接種	1,728	6,216	1,585	9,906	▲ 143	3,690
施設外来	18,300	43,704	18,805	55,344	505	11,640
その他	1,680	6,282	1,621	8,009	▲ 59	1,727
合計	30,220	114,222	30,198	128,656	▲ 22	14,434

(2) 入院収入(病棟別)

病棟	2023年度予算		2023年度実績		予実差	
	稼働(床)	金額 (千円)	稼働(床)	金額 (千円)	稼働(床)	金額 (千円)
2F	41.0	382,950	39.6	398,012	▲ 1.4	15,062
3F	31.0	391,519	29.8	377,951	▲ 1.2	▲ 13,568
4西	41.0	328,070	38.9	332,282	▲ 2.1	4,212
4東	40.0	270,560	26.6	186,797	▲ 13.4	▲ 83,763
5F	50.0	283,177	42.7	271,525	▲ 7.3	▲ 11,652
過誤査定	--	▲ 480	--	▲ 1,251	--	▲ 771
合計	203.0	1,655,796	177.6	1,565,316	▲ 25.4	▲ 90,480
補助金収入		-		39,309		39,309

3. 患者サービス等について

- (1) コロナ対応として、陰圧ブースを導入して病棟での面会を予約制で実施していたが、12月より対面での面会に切り替えた。さらに、面回数を増やしてほしいというご家族のニーズに対応して回数を月1回から2回へ増した。
- (2) 感染対応BCPも5類移行に伴い見直し、保健所への報告等を削除するなど改定した。

4. 人材の確保、育成および組織づくり

- (1) 精神科医師を2024年3月に1名4月に1名採用し、長らく1名体制であった精神科を3名体制に強化することができた。
- (2) 病院プロジェクトにより看護業務改善を検討し、一部業務をコメディカルへタスクシフトすることにより、看護師の負担軽減につながった。
- (3) 外国人技能実習生の受入れ検討を進め、Zoomでの面接を実施し、1年かけて2名のベトナム人実習生の受入れを確定した。日本での研修を経て、2024年6月入職予定となった。

24.啓明ともいき保育園

(1) 在籍状況(90名定員)

	在籍数	入所率(%)	0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳児以上
4月	89名	98.8	2名	31名	18名	38名
5月	89名	98.8	2名	31名	18名	38名
6月	91名	101.1	4名	31名	18名	38名
7月	92名	102.2	4名	31名	18名	39名
8月	93名	103.3	5名	31名	18名	39名
9月	93名	103.3	5名	31名	18名	39名
10月	93名	103.3	5名	31名	18名	39名
11月	95名	105.5	6名	32名	18名	39名
12月	96名	106.6	7名	32名	18名	39名
1月	96名	106.6	7名	32名	18名	39名
2月	97名	107.7	8名	32名	18名	39名
3月	98名	108.8	9名	32名	18名	39名

(2) 防災訓練実施状況

- ・避難訓練:通報、消火訓練毎月実施、地震(震度5)洪水は警戒アラート想定(保護者連絡)、不審者対応
- ・総合避難訓練は模擬通報、職員消火訓練。1,2,3月は予告なし、冬場停電、土曜体制、園長不在体制実施

(3) 行事の実施状況

- ・コロナ5類以降は感染対策を継続しながら、コロナ前の流れに戻しつつ実施
- 【定例行事】
- ・入園お祝い会、誕生会、季節ごとのお楽しみ会(七夕すいか割り)、園医健診、歯科健診
- 【季節行事】
- ・春の遠足(弁当園外)、お祭りごっこ(公園神輿担ぎ)、運動会、バス遠足、生活発表会、クリスマスお楽しみ会(バイキング)
新年お楽しみ会、節分、おみせやさんごっこ、お別れ会(バイキング)、卒園式
- 【その他】
- ・保護者出席の個人懇談、参観日実施、観劇(影絵等)交通安全教室は連携保育園と一緒に楽しむ
- ・慈啓会特養交流は感染予防をし、主に5歳児と神輿発表、敬老の日(お手紙)、発表会演目披露、雪ダルマづくり披露実施
- ・年長児(5歳児)の園外活動は、藻岩山ロープウェイ登山、中島公園内の人形劇観賞、AOAO水族館、冬の動物園等
公共交通機関を利用し実施

(4) 給食の実施状況

- ・札幌市の献立を基に園児に提供、アレルギー児は医師の診断を得てアレルギー食提供、卵、小麦、胡麻、乳、キウイ
給食便り発行。子ども達に人気のあるもの、季節の食材によるメニューの紹介
- ・子ども達が意欲的に食に関われるよう、プランターで野菜を育てる(各年齢)、食育は手洗い、スプーン
箸の持ち方、野菜クイズ(とうきびの皮むき等)、年長はだし、三食食品群、クッキング(ホットケーキ)

(5) 事故発生状況

- ・ひっかき、擦り、切り傷、突き指、手をはさめる、打撲、歯の脱臼、肘内障

(6) 保健衛生

- ・コロナ陽性は職員5月1名8月2名9月2名2月1名、11月日総職員1名、園児は同時期に年間で12名罹患
- ・インフルエンザBは4月園児3名、10月より3月まで園児32名、職員11月より3名、
- ・園児数名コロナ、RSウイルス、溶連菌等複数の菌に罹患、他、糖尿Ⅰ型園児1名インスリン注射は親、園では補食、糖管理

(7) 職員研修実施状況

- ・キャリアアップ研修(障害児 幼児乳児保育)オンライン、対面受講、幼保小連携研修
- ・札幌市(障害児支援、気になる子ども発達支援、虐待事例、対応、保育の質を高める)
- ・栄養士研修(アレルギーの理解等、感染症動画配信)、園内研修(認定こども園実施内容、異年齢保育)

25. 中央区第2地域包括支援センター・中央区第2介護予防支援事業所

○中央区第2地域包括支援センター

(1)相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	61	87	74	93	100	75	83	68	90	82	62	91	966

(2)会議開催、参加等

	主催	参加
個別地域ケア会議	14	
個別地域ケア会議の準備会	29	
地区地域ケア会議	17	
地区連絡会議	2	
区地域ケア推進会議	18	
区連絡会議	10	
市地域ケア推進会議		1
①②以外のケース検討会議	1	0
運営推進会議等		42
介護支援専門員連絡協議会		0
地区組織との連携	0	30
医療機関との連携	5	1
主任介護支援専門員との連携	4	0
その他関係機関との連携	54	9
生活支援コーディネーター等との連携	0	1
合計	154	84

○介護予防ケアマネジメント業務・指定介護予防支援業務

(1)登録者推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
登録者数	876	874	889	900	897	911	916	920	933	949	908	914	
解約者数	8	10	17	14	9	16	14	21	9	14	13	21	166
未利用者	120	125	114	125	118	137	133	141	137	135	95	93	

(2)給付管理提出数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規利用数	14	11	22	26	31	15	18	27	27	23	24	15	253
継続利用数	742	738	753	749	748	759	765	752	769	791	789	806	9,161
合計	756	749	775	775	779	774	783	779	796	814	813	821	9,414

(3)活動状況

- ① 札幌市・区連絡会議:23回 ② 研修会参加者数:21回/42名(延べ人数)
 ③ 虐待関係会議(コアメンバー、初動期評価、ケース、評価):16回 ④ 研修会開催・講話:27回

《全体のまとめ》

・相談件数は前年度より73件増加。内、78%が介護保険サービスに関する相談内容であり、その結果、介護保険利用者数も増加している。前年度の給付管理提出数と比べて266件増加しており、新規利用者は57件増加し、解約者については22件減少している。

・個別地域ケア会議の開催は14回と年度目標件数12回を達成できている。また前年度課題とした自立支援型の会議を6回開催することができた。

・関係機関との連携に関しては運営推進会議への参加、ケアマネや医療機関との関わり、また地区組織との連携についても民生委員や町内会などとの関わりが前年度実績の1.4倍となっている。

・地域活動は、令和4年度より第2包括エリアにある児童・障がい・高齢分野を横断したケアラー支援の仕組みを継続してお

26. 中央区第3地域包括支援センター・中央区第3介護予防支援事業所

○中央区第3地域包括支援センター

(1) 相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	82	88	107	87	102	110	112	93	95	92	80	80	1128

(2) 会議開催、参加等

	主催	参加
個別地域ケア会議	11	
個別地域ケア会議の準備会	11	
地区地域ケア会議	3	
地区連絡会議	17	
区地域ケア推進会議	1	
区連絡会議	12	
市地域ケア推進会議		2
①②以外のケース検討会議	1	1
運営推進会議等		46
介護支援専門員連絡協議会	1	0
地区組織との連携	12	22
医療機関との連携	0	0
主任介護支援専門員との連携	4	0
その他関係機関との連携	32	18
生活支援コーディネーター等との連携	1	1
合計	106	90

○介護予防ケアマネジメント業務・指定介護予防支援業務

(1) 登録者推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
登録者数	1,138	1,144	1,189	1,183	1,202	1,207	1,194	1,236	1,241	1,219	1,198	1,216	
解約者数	19	23	22	15	25	16	17	19	15	21	17	28	237
未利用者	160	156	195	184	186	191	145	184	197	173	167	177	

(2) 給付管理提出数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規利用数	24	30	30	7	29	35	29	37	25	16	25	26	313
継続利用数	954	958	964	992	987	981	1020	1015	1019	1030	1006	1013	11,939
合計	978	988	994	999	1016	1016	1049	1052	1044	1046	1031	1039	12,252

(4) 活動状況

- ① 札幌市・区連絡会議 23回 ② 研修会・参加者数 11回/ 88名(延べ人数)
 ③ 虐待関係会議(コアメンバー、初動期評価、ケース、評価) 5回 ④ 研修会開催 15回

全体のまとめ

・介護予防ケアマネジメント・指定介護予防支援事業における利用者数は12,252件で、年度当初に設定した月1,000件

の目標は達成。前年度比で520件増加している。

・地域活動では、山鼻地区はコロナ禍から繋がりが途切れない地域づくりを目指し、関係機関や地域の医療機関や地域住民と協働した紙袋ランタンにあかりを灯すイベントを山鼻会館や市電通り沿いで実施した。

・曙地区では、相談先周知のために関係機関と「ほのほのカレンダー」を作成し、高齢者を見守り支えるネットワーク「高

齢者見守りサポーター事業」の登録店であるスーパーや銀行等に配布した。

・地区の調剤薬局との交流会は3年目となり、居宅介護支援事業所や訪問看護を交えた講話・交流会を通じてお互いの

事業理解や相談先周知が出来、調剤薬局からの相談も増えている。

・中央区は集合住宅で暮らす高齢者が多く、管理人がいるマンションへ相談先周知や集いの場の周知を行い、管理人を通じてマンション理事会から依頼があり、見守りの講話を1件実施出来た。

・これらの取組を発展させ、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域ケアシステム構築を進める。

1. 役員及び評議員に関する事項（令和5年度末現在）

(1) 理事及び監事（理事定数6・監事定数2）

	氏名	所属および職名	就任年月日	任期満了年月日	最初の就任年月日
理事長	太田 眞琴	宗教法人 新善光寺 代表役員 住職	R5. 6. 27	定款第20条 第1項適用	H3. 6. 2
専務理事 (常勤)	今 真一	社会福祉法人札幌慈啓会	R5. 6. 27	定款第20条 第1項適用	R3. 6. 21
理事 (常勤)	木村 裕一	社会福祉法人札幌慈啓会 慈啓会病院院長	R5. 6. 27	定款第20条 第1項適用	R4. 3. 28
理事	佐藤 源五郎	(株)マルゲンビル 代表取締役社長	R5. 6. 27	定款第20条 第1項適用	H17. 4. 1 (監事 H4. 11. 23)
理事	太田 真海	宗教法人 新善光寺 副住職	R5. 6. 27	定款第20条 第1項適用	H24. 11. 23 (評議員 H21. 4. 1)
理事	樋爪 昌之	税理士法人 ひづめ会計 代表社員	R5. 6. 27	定款第20条 第1項適用	R1. 6. 19 (監事 H17. 4. 1)
監事	堀内 和紀	宗教法人 善道寺 住職	R5. 6. 27	定款第20条 第1項適用	H26. 2. 26
監事	山田 肇		R5. 6. 27	定款第20条 第1項適用	R1. 6. 19 (評議員 H26. 11. 23)

(2) 評議員（現員10名。評議員定数7～10名）

	氏名	所属および職名	就任年月日	任期満了年月日	最初の就任年月日
評議員	片山 浄教	宗教法人 浄土宗天徳寺 前任職	R5. 6. 27	定款第7条 第1項適用	H16. 5. 26
評議員	植田 英隆	株式会社りんゆう観光 相談役	R5. 6. 27	定款第7条 第1項適用	H22. 2. 24 (評議員) (H6. 11. 23)
評議員	熊谷 明也	マンション経営	R5. 6. 27	定款第7条 第1項適用	H6. 11. 23
評議員	佃 公子		R5. 6. 27	定款第7条 第1項適用	H6. 11. 23
評議員	藤岡 弘昌		R5. 6. 27	定款第7条 第1項適用	H22. 2. 24
評議員	寺井 孝典	社会福祉法人 徳風会 養護老人ホームかるな和順 施設長	R5. 6. 27	定款第7条 第1項適用	H24. 11. 23
評議員	佐々木 琢至	司法書士・土地家屋調査士 ささき事務所	R5. 6. 27	定款第7条 第1項適用	H26. 11. 23
評議員	小村 知江子	新善光寺明照婦人会 副会長	R5. 6. 27	定款第7条 第1項適用	H29. 4. 1
評議員	中田 大信	浄土宗 藻縁山 観音寺 住職	R5. 6. 27	定款第7条 第1項適用	R3. 6. 21
評議員	宿谷 英樹	学校法人 新善行寺学園 白石幼稚園 副園長	R5. 6. 27	定款第7条 第1項適用	R3. 6. 21

2. 職員に関する事項（令和5年度末現在）

（1）主要職員

氏名	役職（主な兼務職）	職務	採用年月日	備考
今 真 一	法人本部事務局長（法人専務理事）	法人事務局の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H27. 4. 1	
木村 裕一	慈啓会病院 院長（法人理事）	病院業務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H25. 1. 1	
笹本 守行	法人本部 財務部長兼総務部長	部の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	R3. 3. 1	
蝦名 真	法人本部 福祉部長兼経営企画部長	部の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H6. 4. 16	
能代 篤幸	慈啓会養護老人ホーム 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	S59. 4. 1	嘱託職員
川島 志緒里	慈啓会ふれあいの郷 養護老人ホーム 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	S56. 4. 1	嘱託職員
谷口 俊弘	慈啓会特別養護老人ホーム 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H15. 4. 1	
新名 規正	慈啓会特別養護老人ホーム 副施設長	施設長を補佐し 施設の事務を整理する	S59. 4. 1	嘱託職員
福土 友将	特別養護老人ホーム札幌市稲寿園 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H10. 4. 1	
嶋 正人	札幌市菊寿園 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H6. 4. 1	
阿地 俊弘	札幌市拓寿園 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H31. 4. 1	嘱託職員
垣内 英樹	慈啓会老人保健施設 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H6. 5. 1	
道林 松美	慈啓会老人保健施設 副施設長	施設長を補佐し 施設の事務を整理する	S63. 5. 1	
片村 能也	慈啓会病院 副院長 （精神科担当）	院長を補佐し 病院業務を整理する	H12. 4. 1	
多羅澤 功	慈啓会病院 副院長 （内科担当）	院長を補佐し 病院業務を整理する	H25. 4. 1	
金子 哲也	慈啓会病院 事務長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	S59. 4. 1	嘱託職員
奥村 美貴子	慈啓会病院 看護部長	看護部の業務を司り 所属職員を指揮監督する	H6. 11. 1	
品田 聡美	啓明ともいき保育園 園長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H26. 10. 1	嘱託職員
黄田 敦子	札幌市中央区第2地域包括 支援センター センター長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H14. 4. 1	
小林 智巳	札幌市中央区第3地域包括 支援センター センター長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H15. 4. 1	

(2) 職員数 計649名(令和5年度末)

<内 訳(単位:名)>

- 雇用区分別 正職員427/嘱託職員46/ほか契約職176
(正職員比率65.79%)
- 勤務形態別 フルタイム勤務523/パートタイム勤務126
- 性別別 男性182/女性467
- 職種別 医師15/看護職149/コメディカル23/看護補助47/
介護職231/相談職69/保育士24/事務職42/その他48

3. 役員会に関する事項 (R5.4.1~R6.3.31)

(1) 理事会

開催年月日及び場所等	議事事項	結果
<p>令和6年度第1回理事会</p> <p>令和5年6月12日14時 テレビ会議</p> <p>理事 出席4名・欠席2名 監事 出席2名全員</p>	<p>議案第1号 令和4年度補正予算(第3回)</p> <p>議案第2号 令和4年度事業報告</p> <p>議案第3号 令和4年度決算承認</p> <p>議案第4号 令和5年度補正予算(第1回)</p> <p>議案第5号 夏季手当支給割合</p> <p>議案第6号 理事候補推薦</p> <p>議案第7号 監事候補推薦</p> <p>議案第8号 啓明ともいき保育園の認定こども園移行</p> <p>議案第9号 定款変更 (啓明ともいき保育園の認定こども園移行)</p> <p>議案第10号 定時評議員会開催</p> <p>報告第1号 令和4年度決算監査報告</p> <p>報告第2号 令和4年度第4四半期職務執行状況報告</p> <p>報告第3号 社会福祉充実計画</p> <p>報告第4号 人事発令(地域包括センター センター長)</p>	<p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p>
<p>令和5年度第2回理事会</p> <p>令和5年6月27日15時 ホテルマイステイズ札幌アスペン</p> <p>理事 出席6名全員 監事 出席2名全員</p>	<p>議案第1号 理事長および業務執行理事の選任</p>	<p>可決</p>
<p>令和5年度第3回理事会</p> <p>令和5年8月29日14時 テレビ会議</p> <p>理事 出席6名全員 監事 出席2名全員</p>	<p>議案第1号 契約職員給与規程の改正</p> <p>報告第1号 令和4年度第1四半期職務執行状況報告</p> <p>報告第2号 事業継続計画(BCP)策定について</p> <p>報告第3号 啓明ともいき保育園の認定こども園移行の進捗</p> <p>報告第4号 各種検討プロジェクトについて</p>	<p>可決</p>

開催年月日及び場所等	議事事項	結果
<p>令和5年度第4回理事会</p> <p>令和5年11月28日14時 札幌慈啓会 会議室</p> <p>理事 出席6名全員 監事 出席2名全員</p>	<p>議案第1号 専決処分事項指定</p> <p>議案第2号 冬季手当支給割合</p> <p>報告第1号 令和5年度第2四半期職務執行状況報告</p> <p>報告第2号 令和5年度決算見込(第1回)</p> <p>報告第3号 各プロジェクト進捗状況報告</p> <p>報告第4号 令和6年度にむけた清掃業務契約の更新について</p>	<p>可決</p> <p>可決</p>
<p>令和5年度第5回理事会</p> <p>令和6年2月22日14時 札幌慈啓会 会議室</p> <p>理事 出席5名・欠席1名 監事 出席2名全員</p>	<p>議案第1号 奨学金規程の改正</p> <p>議案第2号 役員賠償責任保険の加入</p> <p>議案第3号 令和5年度補正予算(第2回)</p> <p>議案第4号 人事案件</p> <p>議案第5号 臨時評議員会開催</p>	<p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p>
<p>令和5年度第6回理事会</p> <p>令和6年3月26日14時 テレビ会議</p> <p>理事 出席4名・欠席2名 監事 出席2名全員</p>	<p>議案第1号 令和6年度 事業計画</p> <p>議案第2号 令和6年度 予算案</p> <p>報告第1号 各プロジェクト進捗状況報告</p>	<p>可決</p> <p>可決</p>

(2) 評議員会

開催年月日及び場所等	議事事項	結果
<p>令和5年度定時評議員会</p> <p>令和5年6月27日14時 ホテルマイステイズ札幌アспен</p> <p>評議員 同意8名全員</p>	<p>議案第1号 令和4年度事業報告</p> <p>議案第2号 令和4年度決算承認</p> <p>議案第3号 定款変更(認定こども園事業について)</p> <p>議案第4号 新理事の選任</p> <p>議案第5号 新監事の選任</p> <p>報告第1号 令和4年度決算監査報告</p> <p>報告第2号 社会福祉充実計画</p> <p>報告第3号 慈啓会老人保健施設のコンサルティング</p> <p>報告第4号 人事発令(地域包括支援センター センター長)</p>	<p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p>
<p>令和5年度臨時評議員会</p> <p>令和6年3月26日15時 札幌慈啓会 会議室</p> <p>評議員 同意6名全員</p>	<p>報告第1号 令和6年度事業計画</p> <p>報告第2号 令和6年度予算</p> <p>報告第3号 各プロジェクト進捗状況報告</p>	